

都市再生整備計画 事後評価シート

池田地区

平成24年3月

徳島県 三好市

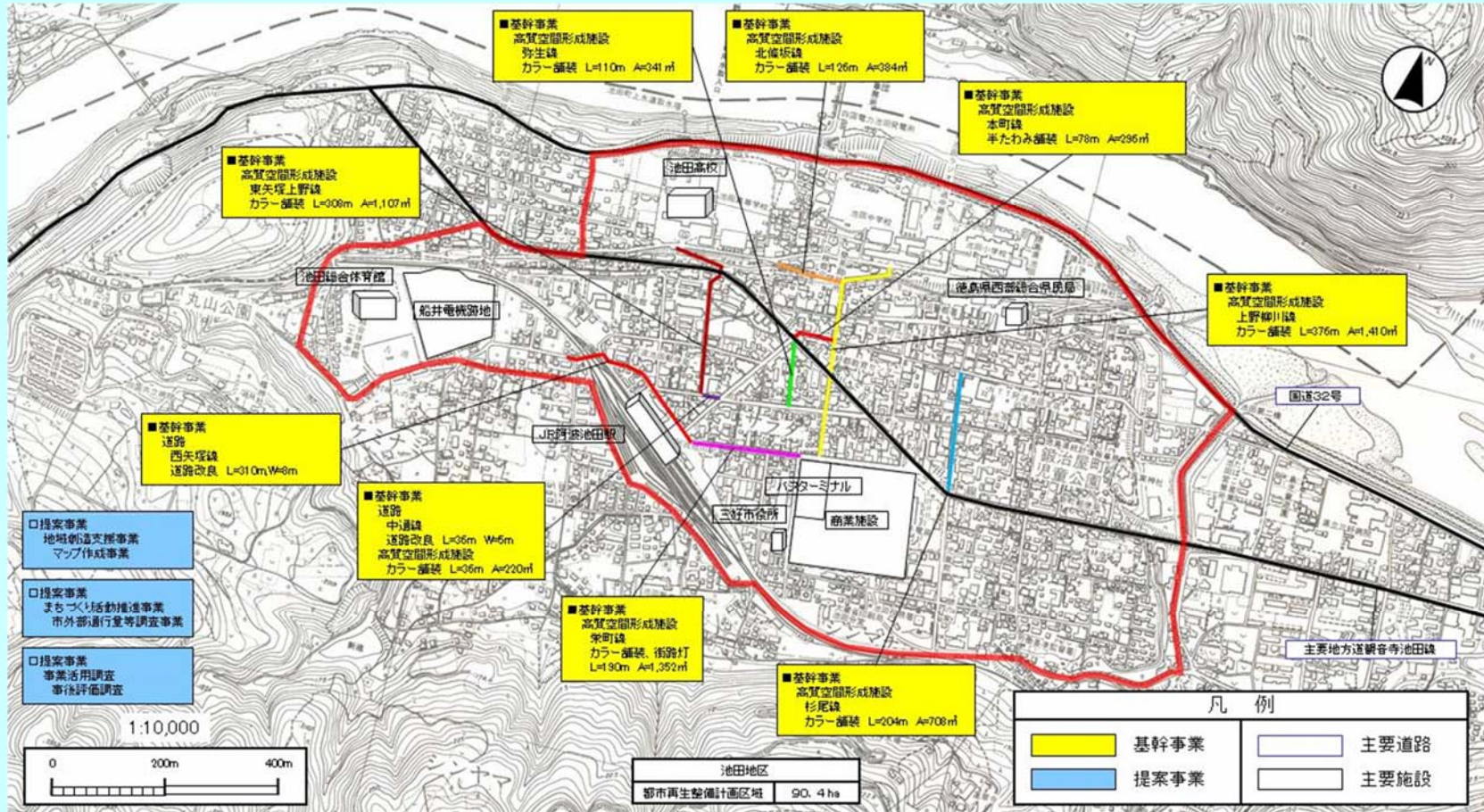
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	徳島県		市町村名	三好市		地区名	池田町		面積	90.4ha				
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	1,309.4百万円		国費率	0.400				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 【道路】市道西矢塚線、市道中通線 【高質空間形成施設】半たわみ舗装、本町線・カラー舗装、東矢塚上野線、中通線、弥生線、北条坂線、杉尾線、上野柳川線、栄町線 【地域創造支援事業】マップ作成事業 【事業活用調査】事後評価調査 【まちづくり活動推進事業】通行量等調査											
	当初計画から削除した事業		基幹事業		なし		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業		なし		-			-				
	交付期間の変更		当初		平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-				
	変更		-		-			事業の達成度の確認、今後のまちづくりの分析・検討実施 達成度の確認のため、指標等には影響しない						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値								
	指標1	商業年間販売額	百万円	32,033	H16	32,000	H23	32,635	30,964	×	あり	-	三好市(池田地区)の商品販売額については増加傾向が見られず、目標達成はできなかったが、事業の効果は長期的に表れるものであるため、引き続き活性化の取組を進めていく。	H24.7
	指標2	中心商店街空き店舗数	軒	48	H18	40	H23	-	61	×	あり	-	空き店舗については目標達成はできなかったが、従来空き店舗だったところが新たに営業を始めたり、空き店舗を活用した事業も図られている。	H24.7
指標3	総合体育館利用者数	人	70,000	H17	77,000	H23	86,382	71,993	×	あり	-	総利用者数については目標達成はできなかったが、今後西矢塚線の完成後は更なる利用者の増加が期待できる。また近年利用団体数や利用個人数については増加傾向にある。	H24.7	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値								
	その他の数値指標1	空き店舗活用実施数	件	0	H18	/	/	-	5	/	/	/	産直市や広場整備など、空き店舗の利活用数が増加し、商店街や地域の活性化の取組やイベントと合わせて、まちづくりの機運が高まっている。	0
その他の数値指標2	車両の中心商店街通過距離	m	200	H18	/	/	-	0	/	/	/	道路整備によって、総合体育館からの車両の流れが整序化され、中心商店街を通過する車両が減少し、来街者の安全性や快適性が高まった。	H24.7	
4) 定性的な効果発現状況	① カラー舗装や半たわみ舗装の施工により、歩行空間の景観性が向上し、通行者の快適性が高まった。 ② 散策マップ作成により、来街者の利便性が高まり、商店街のまちづくり気運が高まる事が期待される。 ③ 踏切周辺の道路整備により、総合体育館と中心商店街や駅、市役所を結ぶ交通の整序化が図られ、安全性や利便性が高った。 ④ 歩道がなく陸橋しかなかった踏切横断部の歩道整備により、子どもや高齢者、車いす利用者が安全に通行することができるようになった。													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	商業統計の公表時に、三好市(池田地区)の年間商品販売額を計測し、各年度で総合体育館の年間利用者数を集計。	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-	今後も統計値の入手時期に合わせて継続的に実施していく。						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●							
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-							
住民参加プロセス	季節の節目および市内開催の各種イベントにあわせて定期的に、商店街、住民、行政が一体となったイベントを開催。	都市再生整備計画に記載し、実施できた				-	一体となって実施している住民参加型の年間イベント開催件数は増加傾向にあり、引き続き、継続的に取り組みを続けていく。							
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●								
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-								
持続的なまちづくり体制の構築	花いっぱい運動などの環境美化推進事業の推進体制を構築し、事業を持続的に実施。	都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	今後も地域住民と連携を取りながら継続的に実施していく。							
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-								
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-								

様式2-2 地区の概要

池田地区(徳島県三好市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
目標1 交流拠点相互のアクセスを向上させ、交流人口増を図る。 目標2 交流・生活拠点機能を高め、地区内のにぎわいを再生するとともに、商店街の空き店舗改善を図る。 目標3 周辺観光地からの観光客を誘導し、地域振興を図る。	商業年間販売額	単位: 百万円 32,033 H16	32,000 H23	30,964 H23
	中心商店街空き店舗数	単位: 軒 48 H18	40 H23	61 H23
	総合体育館利用者数	単位: 人 70,000 H17	77,000 H23	71,993 H23
	空き店舗活用実施数	単位: 件 0 H18	—	5 H23
	車両の中心商店街通過距離	単位: m 200 H18	—	0 H23



まちの課題の変化

・市道西矢塚線等の道路整備事業により、踏切横断の歩道設置や総合体育館と市中心部のアクセス性の改善が図られ、通行者の安全性や快適性の向上が図られることとなった。
 ・商店街の歩行空間におけるカラー舗装・街路灯設置などによる快適な空間づくりや、観光ルートや通り看板の位置などを記載した散策マップの作成によって、周遊ルートの整備やにぎわい再生が図られることとなった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・総合体育館と中心商店街だけに限らず、建設計画中の交流拠点施設や駅周辺、市役所・バスターミナル周辺も含めた総合的な連携方策を実施していく。
 ・商店街、住民、行政が一体となったまちづくりの取組を行い、空き店舗の利活用やまちづくりイベント、人を呼び込む仕掛けづくりなどの継続的な実施をしていく。
 ・景観計画に絡めた電線類の地中化など、街並み景観を良くしていくための方策を実施し、散策者の印象度をより一層高めていく。